



会員の皆様におかれましては、新型コロナウイルス流行という未曾有の災害の中、大変なご苦勞をされていることと存じます。例年ならば、支部活動を紹介する記事を掲載しておりましたがコロナの影響で思うような活動ができない状況が続いております。そこで、今回の支部ニュースでは石巻管内の病院で日頃より感染症対策に尽力しておられる看護師の方々に新型コロナウイルス感染症対策に関連した質問を行い、各病院での取り組みやご苦勞を石巻支部会員の皆様と共有できる機会になればと考えました。

- 今回の質問は、
1. コロナ禍における感染症対策について教えてください。
 2. コロナ対策で一番難渋したことをお聞かせください。
 3. 石巻支部の皆さんへメッセージをお願い致します。
- 以上の3問です。

石巻市立病院

感染管理室 佐藤ひろみ様

1. 外来患者や入院間もない患者との近距離で会話する際には目の防護としてアイシールドの着用を、咳や発熱などの症状がある患者と接触する際にはN95マスクの着用など、個人防護具の適切な着用について啓発しました。感染管理研修では、委託業者を含む全職員の個人防護具の着脱手順を確認し、適切な着脱手順について研修を行いました。
2. 咽頭違和感程度の軽い症状でもSARS-CoV-2抗原検査で陽性になることがあり、早期発見の難しさを実感しました。また、第8波では家庭内感染が増加し、勤務変更や人員の確保に難渋しました。
3. 新型コロナウイルス感染症の対応は、当分続くと思われます。基本的な感染対策を徹底するとともに、クラスター発生を防止し、石巻市立病院の役割を果たしていきたいと思えます。

石巻管内A病院

1. 標準予防策＋手指衛生とクラスター対策、基本的対策の強化とすり抜けや職員発生時の対策として、クラスター時有効とされる対策を日常継続対応とし、早期対応が出来る環境作りを行っています。(インフルエンザ対策含め)
2. クラスターが発生した際、病院としてのBCPが整っておらず、管理者と経営者間の連絡体制、役割含め全く機能せず、現場が大混乱した事による感染の拡大、終息の遅れがあった。
3. リスクや不安、心身の疲弊の中、日々の最前線で奮闘されていることと思えます。人と人とのコミュニケーションもなかなかとりにくい環境ですが、クラスターを経験し日常(平時)から良い人間関係を築いていく事の大切さを感じました。今すべき事は、スタッフの声を聞く事ではないかと思えます。



女川町地域医療センター

看護介護部長 長かおる様

- ①タイムリーな情報共有と、すべきことの明確化。今何が起きているかをスタッフに周知し、しなければならぬ事を明確にして、行動できるようにする。
②平時の感染対策の教育と資材の備蓄（eラーニングを利用した教育など）。臨時の感染対策委員会を開催し、問題の共有と、対策・方針を協議・決定し、即日、議事録を社内ネットワークにアップし周知する
- 11月にコロナのクラスターを経験しました。初日に老健の利用者4人とスタッフ1名、老健から診療所に移った患者1名が陽性判明。有床診療所と老健の複合施設で、2か所で陽性者が発生した為、それぞれで対応しシフトを組む必要がありました。発熱外来には、連日20名近い患者さんが受診しており、外来診療を継続する必要もありました。訪問看護を利用している患者さんのケアも継続、老健入所者と7割のスタッフが次々と陽性となったが、幸いなことにもう一つのフロアは無事でした。看護師は、診療所の入院対応と外来を動かしながら、老健に応援に入るという状況になりました。診療所と老健を行き来しないようにシフトを調整したが、完全に分けることは不可能だった。小さい組織ですが、全職員に現状をタイムリーに周知するのは難しかったです（特に交代勤務をしているスタッフ）。
- コロナの流行から早3年、いつになったら終わるのか先が見えませんが、石巻地域には「感染対策地域連携ネットワーク」があり、困った時には救いの手を差し伸べてもらえます。それぞれの施設が体験した学びを共有しながら、共に乗り越えて行ければと思います。一緒に頑張りましょう！



医療法人社団 仙石病院

看護部長 佐々木由佳様

- 基本的な感染対策の徹底として、手洗い・3密の回避（密接・密集・密閉）は勿論の事、BA-5はエアロゾル感染も考えられる為、マスク効果においては、かなり意識しています。例えば当院では、全職員、すき間の無いフィットさせるマスクを意識して、N95マスクの着用を終日義務付けしています。N95マスクを着用する事で、職員間の感染は現在1例も発生していません。
- 夏と冬にクラスターの発生が起きた事。発生経路は持ち込みであっても、それを何らかの形で、伝播させてしまった事については医療者が関与している可能性があり、課題が沢山あった。特に吸引を必要とする患者さんの部屋に、他の患者さんが入室した際、1日でエアロゾル感染が起き、あっという間に感染拡大が生じてしまった事や、トイレの無い大部屋に収容した陽性患者さんがコールを押さず、自由にトイレ移動し、感染拡大に繋がった事等は動線分離に難渋した所です。
- 自らの感染リスクもある中で、仕事とはいえ、感染の危険と闘いながら職務を遂行している医療従事者には頭が下がる思いです。やりたい事も出来ず、遊びにも行けず、気も抜けず、貯まるのはストレスのみで、疲れを重ねながら働き続けている。今、皆さんに伝えたいことは、ほんのわずかな時間でも休息できる時間を作って、美味しい物を食べ、いっぱい笑って、心に栄養を与えて頂きたいという事です。収束の日を願って、一緒に頑張りましょう。

1. 日頃から感染対策として手指消毒が大切だとスタッフが理解していても、当病院は個人消毒液の使用量が増えない状況でした。コロナ感染症が増えてきている中でも手指消毒液の増加は余り望めませんでした。PPEを付けているからと安心と思っているようです。やはりPPE着脱時の手指消毒のタイミングが抜けていることがありそこが出来ていない所だと思いました。感染者がいるからきちんとするのではなく、毎日の積み重ねが大切だと感じています。また、全職員が確実にPPE着脱方法を出来るように今後、リンクナースと一緒に指導していきたいです。
2. 当院では感染認定看護師がいません。ゾーニング一つにしてもこれで良いのかなどが、わからず講義を受講したり、看護雑誌を見ながら管理者と話し合いながら当病院の感染対策を考えていきました。昨年の12月にコロナ感染症が発生してしまいある程度は覚悟を決めていましたが、内心は不安だらけでした。「感染対策をしていれば大丈夫だから」とスタッフに声掛けを行い実際に一緒にケアに入り指導を行った場面もありました。看護師の配置・休憩室・更衣室・はどうするか…。患者さんの部屋移動も大変でした。感染症の患者をケアしている担当看護師は孤独感、孤立感、不安感（自分・家族に感染したら）精神面にも影響がでてきて病棟病棟長・看護部長などに話を聞いて貰いました。クラスター発生時は看護師もコロナ感染症に罹患し休んでしまい、他の病棟から日時を決め応援を出してもらいました。清拭・配膳・下膳に時間がかかり看護師が大変でした。災害時と同じように多職種で何が出来るのかを病院全体で考えていく必要があると思っています。今回のクラスター発生時に何に困ったかを話し合い、振り返りをし、今後クラスターが発生してもスムーズに業務が出来るようにしたいです。
3. 石巻支部の皆様へ。コロナ禍で皆さんも毎日忙しく働いていると思います。本当にご苦労さまです。自分の体調管理が一番です。「無理せずに…」早く石巻支部の会が開催できることを、楽しみにしています。



石巻管内B病院

1. 基本的な感染対策、標準予防策の徹底が大切だと考えます。手指衛生、個人防護具の着脱の訓練を行っています。定期的を確認しないと自己流がでてしまうので確認が必要だと思います。
2. 中堅のスタッフへ防護具の着脱について説明するが、自身の方法には間違いがないとまげず、統一した対策の継続が困難でした。最初に学んだ方法を変える、違いについて受け入れてもらうことが難しいと感じました。
3. コロナ禍で何をすることも制限されたり、準備し実施しようかと思っても中止になることもあったりと落ち着かない日々を送っているかと思っています。石巻支部の業務、日々の業務と大変な思いをされているかと思いますがお互いに頑張っていければと思います。



多忙な業務の中、アンケートにお答えいただいた皆様、本当にありがとうございました。いまだどの病院おかれましても日々忙しく感染症対策に追われている事かと存じます。今回のアンケートで頂いた意見が感染症対策を行っていくうえでの一助となり、また日々ストレスを抱えながらも看護師として頑張っている支部の皆様にとってのエールになればと考えます。

令和4年度も残すところわずかとなってきました。4月に入職した新人の方々が丸1年を迎えようとしています。コロナ渦という状況の中、忙しい日々を過ごした新人1年目の方を対象にこの1年を振り返っての気持ちを聞かせていただきたいと思いアンケートを実施しました。4施設11名の新人看護師の方から回答をいただくことができたので紹介させていただきます。

Q1.所属している部署を教えてください。

- ・病棟…8名
- ・外来…2名
- ・透析センター…1名

Q2.看護師になりたいと思ったきっかけを教えてください。

- ・親や親族に看護師がいたため…4名
- ・尊敬する看護師との出会い…3名
- ・家族が病気になったこと…1名
- ・小さいころからの夢…1名
- ・震災がきっかけ…1名
- ・前職（介護職）からの影響…1名



3歳の入院時に看護師さんに温かい対応をしていただき、憧れ、ずっとなりたいたって思っていました。

Q3.この1年で頑張ったことを教えてください。



- ・知識や技術の習得…9名
- ・患者への声掛け…1名
- ・失敗からの学び…1名

患者様への声掛けです。療養病棟では年齢や疾患により発語が困難になっている方が多くおり、声掛けをしても返答がないこともしばしばあります。しかし、声掛けによって患者様の表情が少し和らぐなど、非言語的な面で反応が見えることもあります。声掛けを行うことで、患者様がより安心してケアを受けられることにもつながると考えるので、ケア時の声掛けは意識的に行っています。

Q4.この1年で大変だったことを教えてください。

- ・知識や技術の習得…7名
- ・看護師としての責任…1名
- ・コミュニケーション…1名
- ・仕事と私生活の両立…1名
- ・人間関係…1名



看護師資格に合格しても病棟で働いてみるとわからないことだらけで、初めての疾患や処置、ケアに入るたびに自分の知識・技術の無さを痛感しました。しかし、病棟の先輩方が丁寧に指導してくださり、自分自身も学ぶ姿勢を忘れずに取り組むことで日々知識・技術が身についていると実感できています。

Q5.看護師になってよかったことは何ですか。

- ・患者様からの感謝の言葉…5名
- ・患者様の笑顔…2名
- ・専門職として関わられたこと…1名
- ・アセスメントができるようになった…1名
- ・学んだことが私生活でも役立った…1名
- ・特になし…1名



学ぶことが多く大変だが、それを患者様に向けることができ、感謝の言葉で返ってきたとき。

Q6.看護師をやめたいと思ったことはありますか。

- ・ある…5名
- ・ない…6名

Q7.あなたのストレス発散法を教えてください。



- ・睡眠…4名
- ・友達と話す・遊ぶ…2名
- ・ゲームをする…2名
- ・好きなものを食べる…1名
- ・買い物…1名
- ・なし…1名

友人や家族と話すことです。話すことが好きで、それが私にとってのストレス発散になっているかと思います。

Q8.今後頑張りたいことや、目標など教えてください。

- ・さらなる知識や技術の習得…6名
- ・入院対応や夜勤の独り立ち…2名
- ・アセスメントができる…1名
- ・学校を卒業し資格試験合格…2名



まだまだ知識が浅く、経験している技術も少なく、先輩方にフォローしてもらっていることが多くあります。今後も積極的に学ぶ姿勢で多くのことを経験し、知識を深め患者さんの安全・安楽な看護に努めていきたいと思っています。



★御協力いただいた新人の方々がありがとうございました。これからも、なりたい看護師を目指して頑張ってください。応援しています♪